

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-14号)

令和元年9月4日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年8月28、29日に伊勢湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

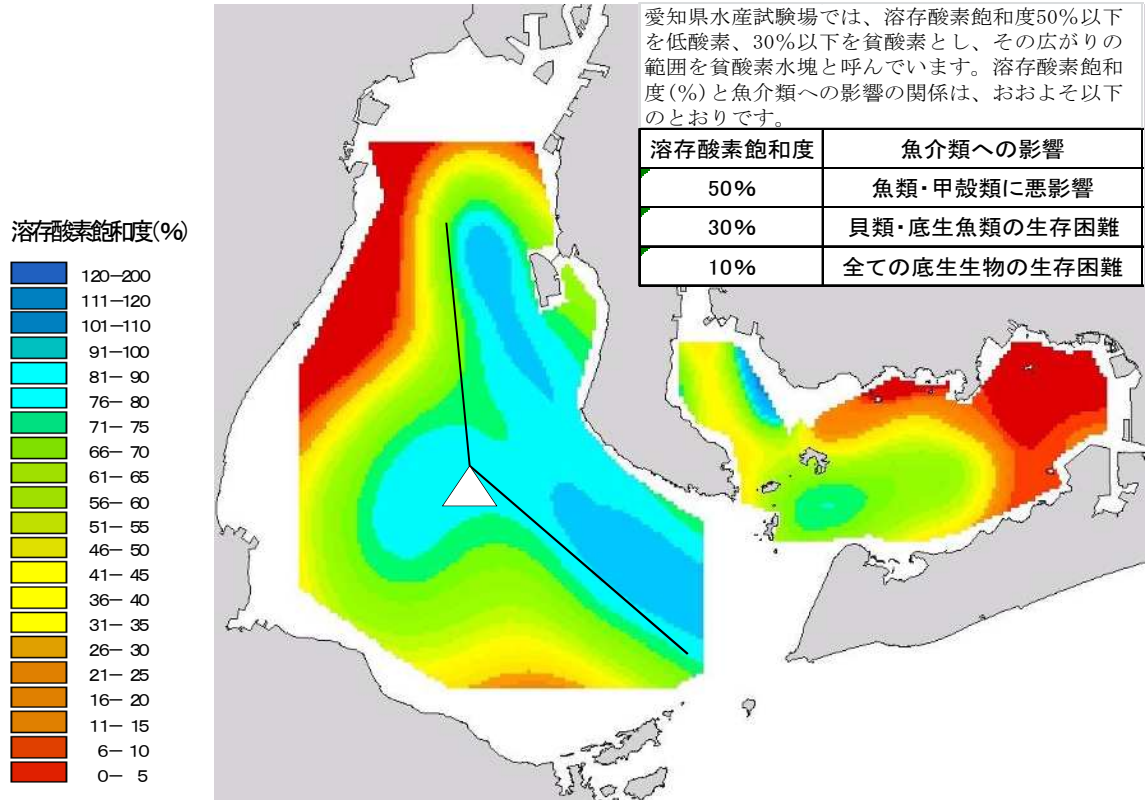


図1 伊勢湾（8月28、29日）・三河湾（8月28日）底層の溶存酸素飽和度の分布（愛知県「海幸丸」、「へいわ」調査）

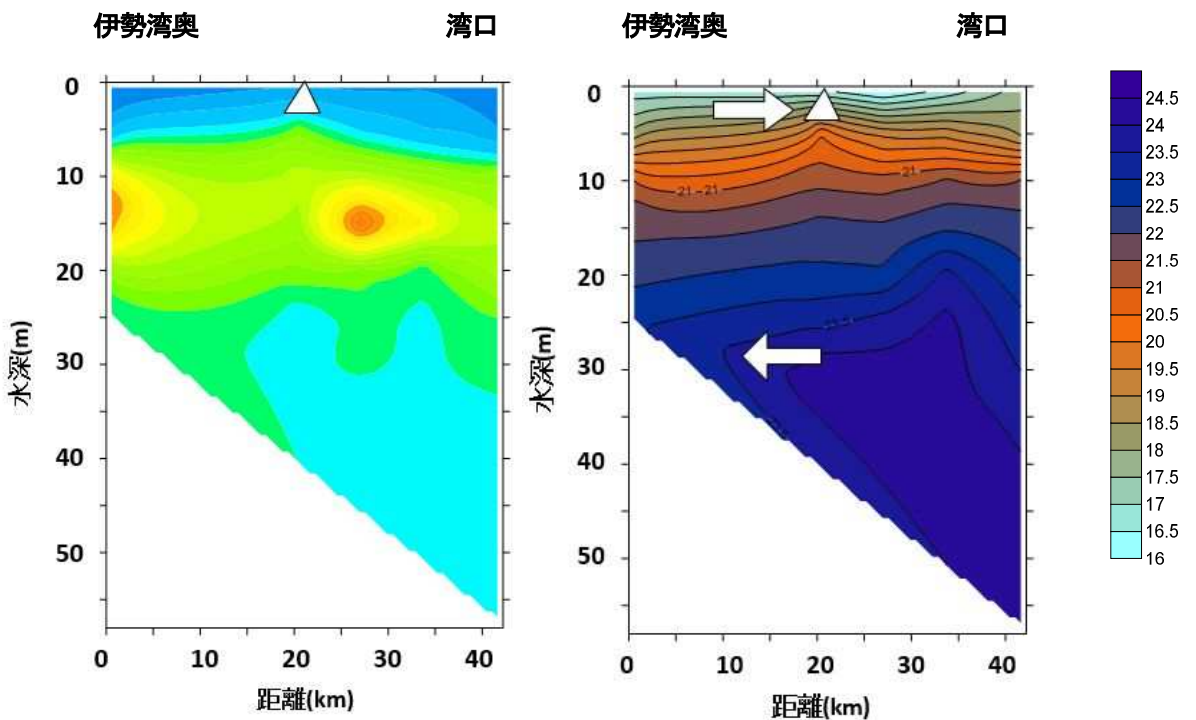


図2 上図直線部分の溶存酸素飽和度の鉛直分布（左図）及び密度（ σ_t ）の鉛直分布（右図）

伊勢湾

8月28、29日の調査結果を図1に示しました。一部の貧酸素水塊は湾西部に偏在していました。また、降雨の影響を受け、表層で σ_t 16から18の低密度水が湾奥から湾口にかけて広がっており、一方、底層では σ_t 23から24の高密度水が湾奥に向けて流入していました。そのため、貧酸素水塊の一部が水深10～20mに浮上している様子が観測されました(図2)。なお、三河湾でも同じような現象が確認されました(伊勢・三河湾貧酸素情報(R1-13号)に掲載済み)。

今後は、熱帯低気圧が発達しながら接近するため、貧酸素水塊は一時的に解消し、その後は消長を繰り返しながら縮小していくものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.4～27.4	18.2～29.1
底層	19.7～23.5	32.6～34.4

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況(図3)

溶存酸素飽和度(%)

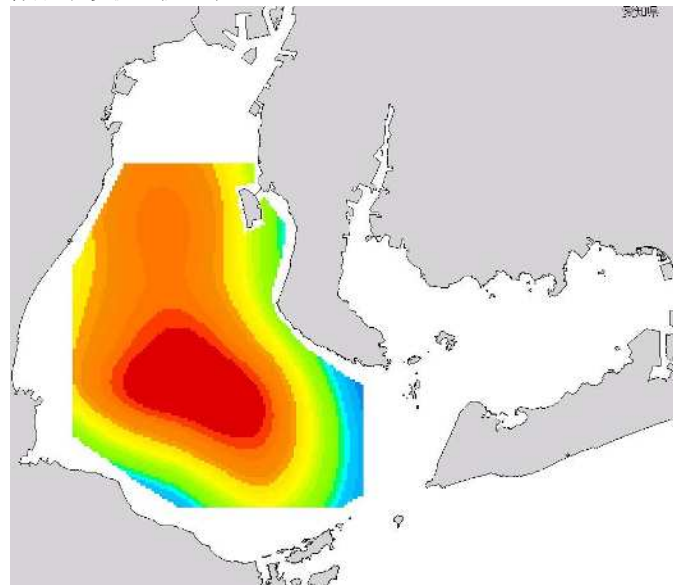
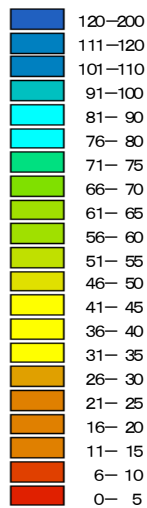


図3 令和元年8月5、6日(伊勢湾)